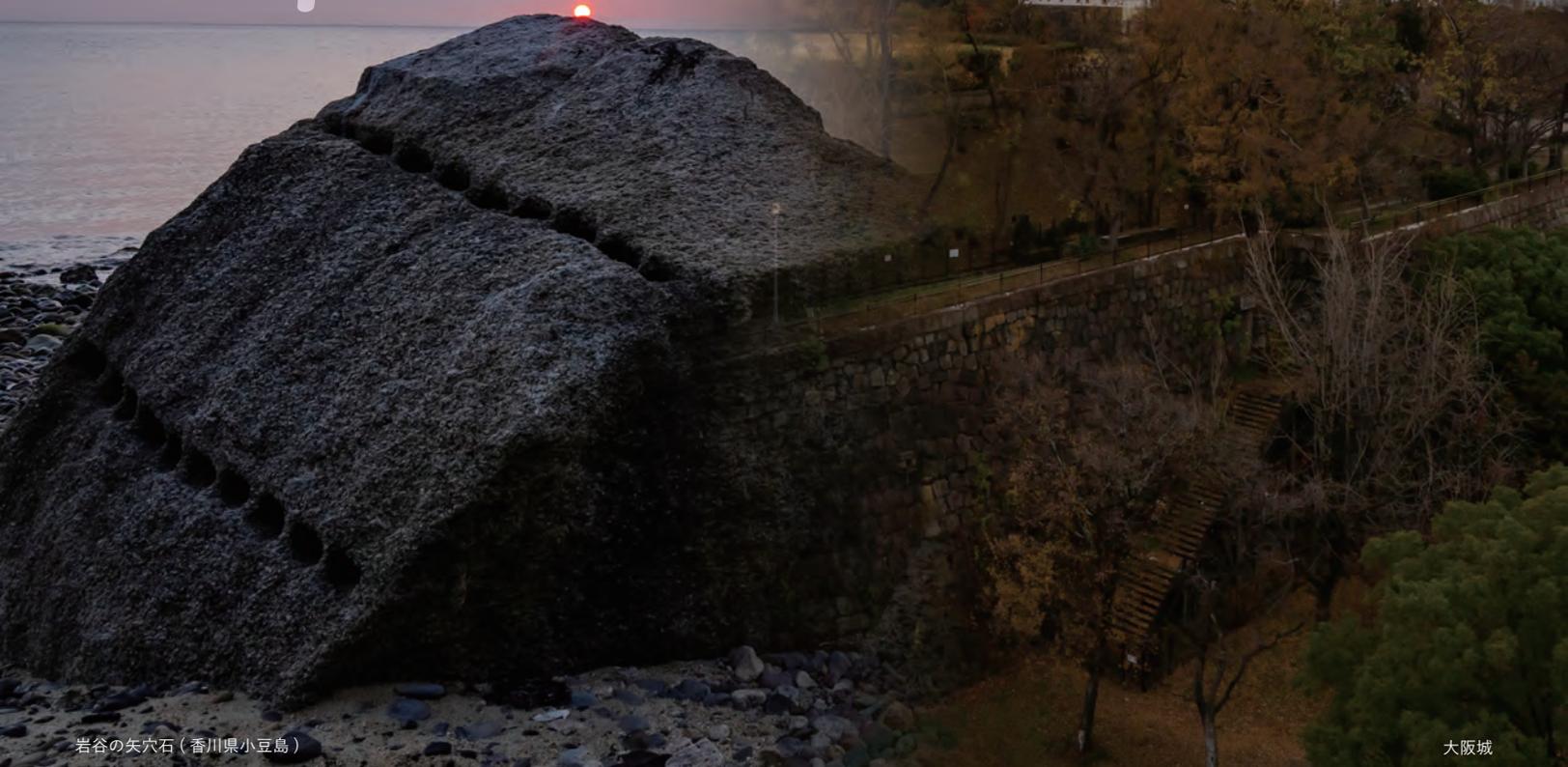


瀬戸内の石の島から大阪へ

石をはこぶ



岩谷の矢穴石（香川県小豆島）

大阪城

2024.3.16 sat - 5.12 sun

令和6年春季企画展 土木遺産展「石をはこぶ -瀬戸内の石の島から大阪へ-」
大阪府立狭山池博物館 1階特別展示室

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌日）

開館時間：10:00 - 17:00（入館は16:30まで）

観覧料：無料

※博物館敷地内には車いす利用者・ゆずり合い区画の駐車場があります。

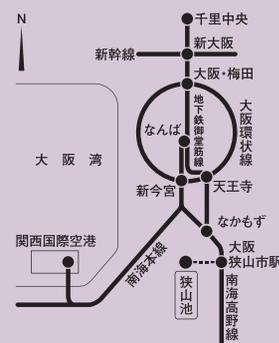
一般の車両は約500m西にある狭山池の北堤駐車場をご利用ください。

主催：大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館協働運営委員会

共催：公益社団法人土木学会関西支部、小豆島石丁場調査委員会

後援：国土交通省近畿地方整備局、香川県教育委員会、土庄町、土庄町教育委員会、

小豆島町、小豆島町教育委員会、南海電気鉄道株式会社、泉北高速鉄道株式会社



南海電鉄なんば駅より高野線にて
大阪狭山市駅下車、西へ徒歩約700m



治水灌漑の土木遺産を継承する
大阪府立 狭山池博物館
OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

〒589-0007 大阪狭山市池尻中2丁目

TEL / 072-367-8891 FAX / 072-367-8892

<https://sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>

入場無料 月曜休館（月曜が祝休日の場合は翌日）





大坂築城丁場割図
大阪府立中之島図書館所蔵



慶長小豆島絵図(笠井家文書)
※本展示では土庄町所蔵レプリカを展示予定

「石をはこぶ - 瀬戸内の石の島から大阪へ」と題した今回の土木遺産展は、土木構築物や建造物を造るのに不可欠な素材である「石」をテーマに開催します。瀬戸内の花崗岩と石切技術は、長きにわたり日本の土木技術を支えてきました。大坂城石垣に代表される大阪地方の多くの石造物に使われている石の出どころであり、瀬戸内備讃諸島を代表する石の島である小豆島にスポットをあて、「石」が瀬戸内の石の島「小豆島」からどのように切り出され、海を越えて大阪に運ばれ、利用されているのかをみていきます。



大坂城の石垣

【関連イベント】

令和6年春季企画展 土木遺産展「石をはこぶ - 瀬戸内の石の島から大阪へ」 関連歴史講演会 大阪府立狭山池博物館 2階ホール

定員：126名（申し込み不要 / 当日先着順）

※手話通訳が必要な方は、開催日の2週間前までに狭山池博物館までご連絡ください。

① 令和6年3月31日（日） 14:00-16:00

歴史講演会『石をはこぶ 土木技術史』

「近世初期の巨石採石技術：小豆島石丁場の分析から」高田 祐一 / 奈良文化財研究所

「豊臣大坂城と徳川大坂城 - 二つの大坂築城と石運び」北川 央 / 九度山・真田ミュージアム名誉館長

② 令和6年4月7日（日） 13:30-16:00

シンポジウム『石をはこぶ - 瀬戸内の石の島から大阪へ』

「絵図と古文書にみる石の島、小豆島」橋詰 茂 / 小豆島石丁場調査団長・香川歴史学会会長

「遺跡にみる石の島、小豆島」大嶋 和則 / 高松市創造都市推進局文化財課

「大坂城の石垣と小豆島」宮本 裕次 / 大坂城天守閣館長

狭山池博物館公式 SNS



Instagram



X